

車の手入れと経済運転のコツ

車の手入れ	166
車を美しく保つには	166
リヤ・シートの取りはずしかた	169
ムダなく運転するコツ	169
寒冷地での取り扱い	172



車の手入れ

■車を美しく保つには

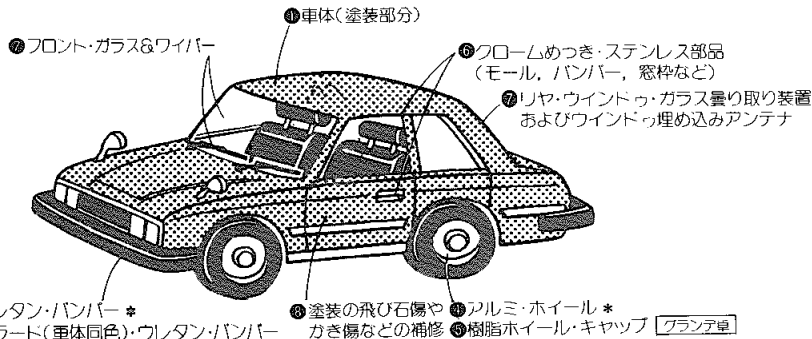
車をいつまでも美しく保つためには、日頃の手入れが必要です。

1. 次のような場合は必ず洗車してください。

- 海岸地帯を走行したとき。
- 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき。
- コールタール、ばい煙、油煙、樹液、鳥のふん、虫の死がいなどが付着したとき。
- ほこり、泥などで著しくよごれたとき。

2. 次のような場所に長時間駐車しますと、塗装の劣化や、車体、部品の腐食などを早める原因となります。十分注意してください。

- 海岸
- ばい煙、油煙、粉じん、鉄粉などの降下の多い場所。
- 化学物質を排出する工場周辺。



①車体(塗装部分) ②ウレタン・バンパー* ③カレード(車体同色)・ウレタン・バンパー ④塗装の飛び石傷やカキ傷などの補修 ⑤アルミ・ホイール* ⑥樹脂ホイール・キャップ グラブテラ車

- 樹液、鳥のふん、虫の死がいなどの付着の多い場所。

①車体(塗装部分)の手入れ

車体のほこりは柔らかい布か毛ばたきで取ってください。

▶洗車方法

- ★エンジン・ルーム内の電気部品に水をかけないように注意してください。エンジン始動不良の原因となります。
- ★下回りを洗うときは、ゴム手袋などを着用してください。手にケガをするおそれがあります。

1. 車体の下回り、足回りを洗います。
2. 十分水をかけながら、スポンジかセーム皮(鹿のなめし皮)でよごれを洗い落とします。
3. よごれのひどいときは、カー・シャンプーを使用します。

★カー・シャンプーを使用したあとは水で十分洗い流してください。

★自動洗車機を使用すると、ときによりブラシの傷がつき塗装の光沢が失なわれたり、劣化を早めることがあります。

4. 塗装面にはん点が残らないように十分水をふき取ります。

▶ワックスがけ

ワックスの中にコンパウンド（みがき粉）がはいっていないものをご使用ください。

1. 1か月に1度または水のはじきが悪くなったときに行なってください。
2. 洗車後、車体の温度が体温以下のときに行なってください。
3. ワックスは次のトヨタ純正品をお使いください。
オートワックス・フレッシュ
オートワックス・シルバー
オートワックス・ゴールド
オートワックス・メタリック
（メタリック塗装用）
4. 上記のワックスを使用しても、よごれがひどく落ちにくいときは、次のトヨタ純正品をお使いください。
オートワックス・ホワイト&クリーン
オートワックス・スピーディー
ただし、ワックスの中に微粒なコ

ンパウンド（みがき粉）がはいっていますのでよごれ落ちはよくなりますが、塗装面を削り取るため塗装面の光沢が失われる原因になります。できる限り3.のワックスを使用してください。

㊦ウレタン・バンパーの手入れ

1. 車体と同じく洗車したあと次の専用ワックスでワックスがけをします。
オートワックス・ブラック（ウレタン・バンパー用）
2. たわしなどの固い物を使用して洗うと傷がつきますので、セーム皮、スポンジなどをご使用ください。
3. 塗装用ワックスや泥が付着すると、ウレタンの目地にはいり白くなることがあります。この場合は、水で洗い落とした後、専用の黒色ワックスを塗布してください。

★コンパウンド入りワックスや、液状ワックスは使用しないでください。

★エンジン・オイル、グリースなどの油分が付着すると、変色、しみなど

の原因となります。十分注意してください。

㊧カラード（車体同色）・ウレタン・バンパーの手入れ

1. 車体と同じく、洗車したあと車体と同じワックスでワックスがけをします。
2. たわしなどの固い物を使用して洗うと傷がつきますので、セーム皮やスポンジなどをご使用ください。

④ アルミ・ホイールの手入れ

★泥の付着、海水、凍結防止剤などにより汚染されると、腐食するおそれがありますので、付着させたままにせず、なるべく早く洗い落としてください。

1. ホイールを洗うときは、中性洗剤を使用してください。
2. ワイヤー・ブラシなど硬い物を使用して洗うと、ホイール面に傷が付きまます。セーム皮、スポンジなどをご使用ください。
3. 洗車後は十分水洗いをし、車体と同じワックスでワックスがけをしてください。

★コンパウンド入りワックスは、よごれがひどく落ちにくいときだけに限定してご使用ください。

★自動洗車機を使用すると、ときによりブラシの傷がついたり塗装膜の摩耗を早めることがあります。

⑤ 樹脂ホイール・キャップの手入れ

グラデ車

セーム皮、スポンジなどで十分水をかけながら洗ってください。たわしや、自動洗車機の硬いブラシを使用すると塗色部に傷が付きまます。

★市販のピッチ・クリーナーなどが樹脂部分に付着すると、破損の原因となりますので、十分注意してください。

⑥ クロームめっき、ステンレス部品

(モール、バンパー、窓枠、ドア・サッシなど)の手入れ

1. 車体と同じく、洗車したあとワックスがけをします。
2. しみなどは、次のトヨタ純正ポリッシュ(みがき粉入りワックス)またはコンパウンドを使用して除去してください。
トヨタ・ポリッシュ・コンパウンド
トヨタ・クローム・ポリッシュ

⑦ ウィンドウ・ガラスについて

ワイパーのふきが悪くなった場合は、ガラス・クリーナーで清掃してください。なお、ワイパー・ゴムが古くなっている場合も同様にふきが悪くなりますので最寄りのトヨタ・サービス工場で交換してください。

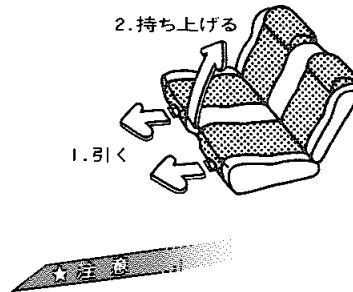
★曇り取り装置付きのリヤ・ウィンドウ・ガラス(室内側)の清掃は、断線を防止するため、ぬらした布で熱線にそって、軽くふいてください。ガラス・クリーナーなどを使用すると、リヤ・ウィンドウ・ガラス曇り取り装置が作動しなくなるおそれがあります。

⑧ 塗装の飛び石傷やかき傷などの補修
これらの傷は腐食の原因となります。見つけたら早目に補修してください。

■ リヤ・シートの取りはずしかた

セダン/ハードトップ

シート・カバーの取り付けなどでリヤ・シートを取りはずすときは、シートの足元にあるレバー(2箇所)を引き、シート前部を持ち上げてください。



レバーを引かずにシートを持ち上げると、シート固定具を損傷するおそれがあります。

ムダなく運転するコツ

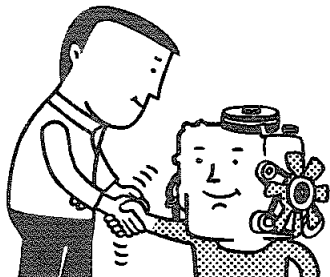
■ 暖機運転は、長すぎると不経済



水温計の指針が動き出すまで(40~50℃)になればOKです。

(30ページの「エンジンのかけかた」の項目を参照してください。)

■エンジンをいたわる気持ちで、長持ちの秘訣



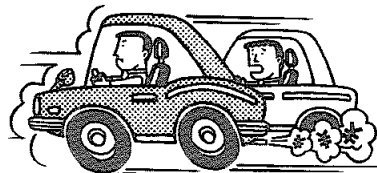
1. (新車時は特に)控え目な運転をしてください。
2. エンジンをオーバーラン(限界回転数超過)させないために、各チェンジ・レバーの位置での速度が次表の数値を越えないようにしてください。

★高速走行時、ギヤを一段下に落とすときはオーバーランに注意してください。

(単位: km/h)

排気量	エンジン型式	トランスミッション型式	1速	2速	3速	4速
2000	1G-EU	5速マニュアル・トランスミッション	45	80	120	155
		2ウェイ・オーバードライブ付き 4速オートマチック・トランスミッション	60	105	150	
	1G-GEU	5速マニュアル・トランスミッション	50	85	125	175
		ECT(電子制御式4速オートマチック・トランスミッション)	65	115	170	
	M-TEU	オーバードライブ付き 4速オートマチック・トランスミッション	55	100	145	
1800	1S-U	5速マニュアル・トランスミッション	45	80	120	160
		オーバードライブ付き 4速オートマチック・トランスミッション	55	100	145	
	13T-J	4速マニュアル・トランスミッション	40	70	105	
		3速オートマチック・トランスミッション	55	100		
2200	L (ディーゼル)	5速マニュアル・トランスミッション	30	55	85	115
		オーバードライブ付き 4速オートマチック・トランスミッション	45	75	110	
2400	2L-TE (ディーゼル)	オーバードライブ付き 4速オートマチック・トランスミッション	45	80	115	

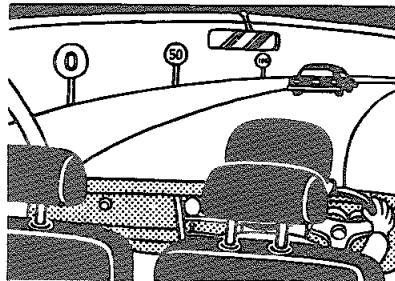
■ 不必要な高速運転は燃料のムダ使い



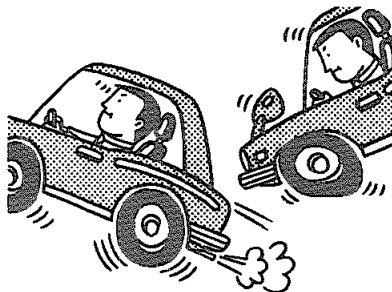
100km/h走行時の燃費は、40km/h走行時の約1.5~1.7倍よけいに多くかかります。

高速道路は80km/h程度で走るのが経済走行といえます。

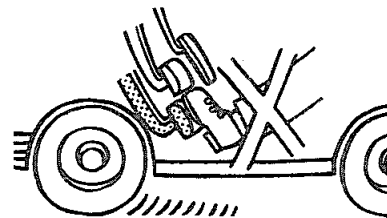
■ 車間距離はゆったりとって、安全プラス経済運転



■ 急発進、急ブレーキは危険をとめない不経済



■ クラッチの適正で確実な操作は、車を長持ちさせる秘訣



1. ギヤを入れるときは、クラッチ・ペダルを十分踏み込んでから行なってください。
中途半端な踏みかたですと、クラッチはもちろんトランスミッションのギヤなども痛めることとなります。
2. 走行中は、クラッチ・ペダルに足を乗せないようにしてください。
3. 発進時は、ロー(1速)ギヤを使用してください。セカンド(2速)ギヤ発進はクラッチの摩耗を早めるおそれがあります。

寒冷地での 取り扱い

この項目での寒冷地とは、北海道全域および東北、北陸の積雪地帯および、その他の地域を含めた山岳地、スキー場などの局地的な厳寒地区、多雪地区を対象としておりますが、その他の地域においても、冬期の取り扱いの参考としてください。

■安全なウインター・ドライブをするために

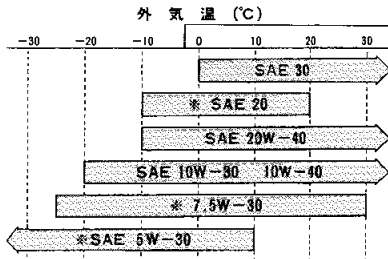


1. タイヤ・チェーンの準備

2. スノー・タイヤの装着
スノー・タイヤに取り替えるときは、4輪とも交換します。
3. 冷却水の濃度の点検をしてください。(寒冷時は・キヤッスル・ロング・ライフ・クーラントの濃度を50%にします。
4. ウォッシャー液の濃度を50%以上にあげます。

使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
通常	原液1に水2	-10°C
寒冷地の冬期	原液1に水1	-20°C
極寒冷地の冬期	原液のまま	-50°C以下

5. エンジン・オイルの粘度番号は、車の運転条件によって多少異なりますが、外気温によって下表を参考にして使い分けてください。



★外気温が0°C以下になる時期にはSAE30を、また20°C以上になる時期にはSAE20を使用しないでください。10W-30などのマルチ・グレード・オイルの使用をおすすめします。

★※印のオイルはターボ車には使用できません。

6. 寒冷地では冬がくる前に燃料タンクの水分を排出することをおすすめします。

また、水分除去剤にはトヨタ純正キヤスミック・エース・ウォーターカット（ディーゼル車はキヤスミック・エース・ウォーターカットD）を使用してください。

7. 凍結防止用ワイパー・ゴムの装着必ずトヨタ純正品を使用してください。

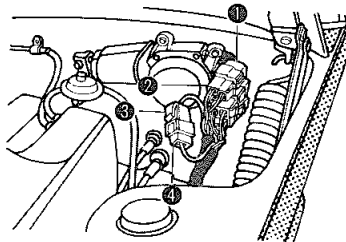
8. ワイパーの切り替え

フル・コン式ワイパーは、フロント・ガラスに多量の雪が積もった場合ワイパーが上がらなくなりワイパー・モーターを損傷するおそれがありますのでワイパー・モーターのコネクターを切り替えてフル・コン式からセミ・コン式にしてご使用ください。

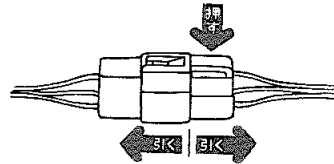
〈切り替え方法〉

エンジン・ルーム左側うしろにあるコネクターの接続を次のように切り替えます。

1. ワイパー・モーター横のコネクター①、②と下側にあるコネクター③、④を切り放します。



コネクターはフック部を押しながら左右に切り放します。



- ★切り放すときはコードを持って引っ張らないでください。断線するおそれがあります。
- 2. 1.で切り放したコネクターの①と③、②と④を接続します。
- ★コネクターを接続したときにカチッと音がしてロックされたことを確認してください。

■走行前の点検(運行前点検)

寒冷時には、次の項目を運行前点検のときに実施してください。

1. 車の下をのぞいて、足回りに付着した氷塊を部品に傷をつけないように注意して取り除いてください。
2. エンジン始動時にアクセル・ペダルやチョークの作動が円滑かどうか確認してください。
3. フロント・ウィンドウの氷雪を除去する際には、ワイパー・ゴムがガラスに凍結していないか確認してください。

■エンジンの冷えすぎを防ぐには

1. 気温に応じてラジエーター前面にカバーをつけるとエンジンを適温に保つのに効果があります。
2. 駐車するときは、ボンネット側を風下にしてください。

■ドアの凍結時の処置

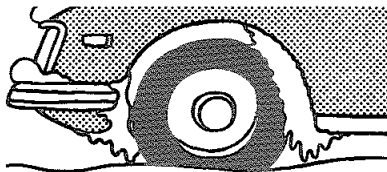
ドアが凍結した場合は無理にあげようとするとうドアまわりのゴムがはがれたり、き裂するおそれがありますので、湯をかけて氷を溶かしてください。なお、後で水分を十分ふき取ってください。

■ターボ車はエンジン始動直後に、エンジンの急激な空ふかしまたは急加速をしないでください。

ターボ機能を損うおそれがあります。

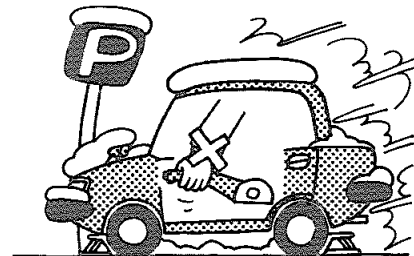
■雪道走行時、フェンダー裏側に付着した雪が氷結し次第にたい積して、ハンドルのきれが悪くなる可能性があります。

ときどき異常のないことを確認してください。



■アクセル・ペダル凍結防止のため、乗車時、靴に付着した雪をよく落としてください。

■凍結するおそれのある場合の駐車は寒冷時は駐車ブレーキをかけておくとブレーキ装置が凍結するおそれがありますので、駐車ブレーキをかけないでください。

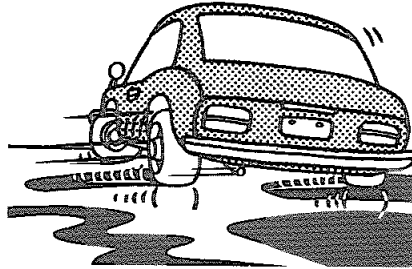


1. チェンジ・レバーの位置をマニュアル・トランスミッション車はロー(1速)またはリバース(後退)、オートマチック・トランスミッション車はⒶにします。
2. 車が絶対に動くことのないように輪止め(とう載工具の中に含まれています)をしてください。

■深い雪道を走行した後に駐車したときや、吹雪の中に駐車したときは、ブレーキ装置に着氷し、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。

走行を再開したら、できるだけ早く、前後の車や道路状況に注意してブレーキの効き具合を確認してください。ブレーキの効きが悪い場合は、ブレーキ・ペダルを踏んで、効きが回復するまで低速で走行してください。

■ぬれた路面、氷雪路面、凍結路面ではスリップに注意



控え目な速度で走り、氷雪路面、凍結路面では、スノー・タイヤ、タイヤ・チェーンを装着してください。地域によっては、条例などで使用が義務づけられていますので、冬がくる前に準備しておいてください。

■ディーゼル車の使用燃料について
軽油は外気温が -10°C 以下になると凍結し、燃料配管の詰まりなどの不具合原因となります。

寒冷地へ行くときは、現地へ着くまでに残量を半分（燃料計目盛の $\frac{1}{2}$ 以下）にしておき、現地に着いたら下表にしたがってできるだけ早く寒冷地用燃料を補給してください。



フェリーを利用して寒冷地へ行くときは、乗船前に燃料を半分にしておき、現地に着いたら寒冷地用燃料を補給してください。

使用限度温度	使用燃料		
	JIS 2号油 軽油	JIS 3号油 軽油	JIS特3号油 軽油
-10°C	○	/	/
※ -14.5°C	○	○	/
-19°C	/	○	/
※ -22°C	/	○	○
-25°C	/	/	○

※は、それぞれの燃料を同じ割合に混合した場合を示します。

※1 1G-EU車のみ注文装備
 ※2 1G-GEU車を除く
 ※3 M-TEU車のみ

※4 M-TEU車を除く
 ※5 1G-GEU車のみ

装 備 品	グレード																										
	フロント・スポット・ライト	フル・コンソール・ボックス	パニティ・ミラー	クルーズ・コンピュータ	電磁式ドア施錠装置	電磁式オート・ドア施錠装置	電動 ワンタッチ式	ウインドウ ドア・キー作動	燃料補給口オープナー	トランク・オープナー	トランク灯	ラジオ			カセットレオ カセット・				グラフィック・イコライザー	エア・コンディショナー	オート・エア・コンディショナー	ハロゲン・ランプ (前照灯)	ウレタン・バンパー	アルミ・ホイール			
説明ページ	63	66	67	69	79	80	80	82	83	84	84	92	92	94	96	99	106	107	109	111	112	115	121	123	163	166	166
GL		●							●	●	●	●					△	△	△				△		●	●	
GR		●							●	●	●		●				△	△	△				△		●	●	
LE		●							●	●	●	●					△	△	△				△	△	●	●	
LG	●	●	●		●		●		●	●	●			●								△	△	△	●	●	
LGツーリング		●							●	●				△								△	△	△	●	●	△
グ ラ ン デ	●	●	●	※4 △	●		●		●	●	●		●	△	△					※2,※4 ●	※1 ●	△		●	●	●	△

燃料、油脂、冷却水容量

▶ エンジン (エンジン・オイル)

排気量	エンジン型式	オイルのみ交換時	オイルと フィルター交換時
1800	13T-J	3.3 (ℓ)	3.8 (ℓ)
	1S-U	3.6	3.8
2000	1G-EU	3.7	4.3
	M-TEU	5.0	5.5
	1G-GEU	3.7	4.3
2200	L	4.8	5.8
2400	2L-TE	4.8	5.8

▶ マニュアル・トランスミッション(ギヤ・オイル)… 2.4ℓ

▶ オートマチック・トランスミッション (オイル)

13T-J, 1S-U… 6.3ℓ

1G-EU, M-TEU, 1G-GEU, L, 2L-TE… 6.5ℓ

▶ ディファレンシャル (ハイポイド・ギヤ・オイル)

(L.S.D.付き車は、キヤッスル・ハイポイド・ギヤ・オイルLSD使用)

車軸けん架車… 1.4ℓ

独立けん架車

1G-EU車のオートマチック・

トランスミッション車… 1.0ℓ

1G-EU車のオートマチック・

トランスミッション車を除く… 1.2ℓ

▶ ステアリング・ギヤ・ボックス(ギヤ・オイル)… 0.4ℓ

▶ 冷却水

13T-J… 8.0ℓ

1S-U… 7.5ℓ

1G-EU… 7.6ℓ

M-TEU… 11.0ℓ

1G-GEU… 7.6ℓ

L… 10.3ℓ

2L-TE… 10.3ℓ

▶ 燃料タンク

セダン/ハードトップ/ワゴン… 65ℓ

バン… 61ℓ

▶ パワー・ステアリング(液)… 0.8ℓ

INDEX

索引

ア

- アイドル調整ツマミ……………31
- アルミ・ホイール
 - 取りはずし……………150
 - 手入れ……………168
- アンテナ……………90

イ

- ECT(電子制御式4速オートマチック・トランスミッション)……………39
- イルミネータツド・エントリ-・システム(エンジン・キー照明)……………62
- インストルメント・パネル(計器盤)……………6
- イグニッション・スイッチ(エンジン・スイッチ)……………28

ウ

- ウインドウ・ガラス
 - 電動ウインドウ……………80
 - 手入れ……………169
- ウォッシャー
 - フロント用スイッチ……………23
 - リヤ用スイッチ……………25
 - タンク……………25
- ウレタン・バンパーの手入れ……………167
- 運転方法……………30, 133, 169
- 運行前点検……………4, 173

エ

- エア・コンディショナー
 - 通常の冷房……………122
 - 早く冷房したいとき……………122
 - ガラスの曇りを取るとき(除湿)……………123
 - 点検……………121
- エレクトロニック・ディスプレイ・メーター(デジタル式メーター)……………8
- エンジン・オイル
 - 使用オイル……………139, 140, 172
 - オイル量……………181
 - エンジン回転計……………11
 - エンジン・キー……………28, 135, 155
 - エンジン・キーが回らないとき……………29
 - エンジン・キー照明……………62
 - エンジンのかけかた
 - エンジンが冷えているとき……………30
 - エンジンが暖まっているとき……………30
 - ディーゼル車……………31
 - EF1付き車……………30
 - ターボ車……………30
 - エンジンの止めかた……………32
 - エンジン・スイッチ……………28, 135
 - エンジンをしたら……………155
 - エンジン・フード(ボンネット)……………82
 - エンジン・ルーム……………138
 - エンジン・ブレーキ……………35, 135
 - エンジン・ヒーター……………33
 - エンジン警告灯……………19

オ

- オイル
 - エンジン……………139, 140, 172, 181
 - トランスミッション……………182
 - ブレーキ……………140
 - クラッチ……………140
 - パワー・ステアリング……………181
- オイル・プレッシャー・ウォーニング・ランプ(油圧警告灯)……………15
- 応急用タイヤ(タイヤ参照)……………146
- オート・エア・コンディショナーの

- 使いかた……………123
- オートマチック・トランスミッション
 - 運転方法……………35, 38, 136, 155
 - オイル量……………181
 - けん引……………157
- オート・ドア・ロック(電磁式オート・ドア施錠装置)……………80
- オート・ドライブ(自動定速走行装置)
 - 働き……………46
 - 使いかた……………46, 47
- オドメーター(積算距離計)……………40
- オーバー・ヒートの処置……………157
- オーバー・ヒート警告灯……………14
- オーバーラン(限界回転数超過)……………170
- オーバードライブ(4速オートマチック・トランスミッション)
 - 働き……………38
 - 使いかた……………38

カ

- カセット・ステレオの使いかた……………103
- カセット・テープの取り扱い……………103
- 寒冷地での運転……………172
- カフロード(車体同色)
 - ウレタン・バンパーの手入れ……………167
 - 外装の手入れ……………166
- ガソリン(燃料)……………138
- ガソリン・タンク(燃料タンク)……………11, 83, 181

キ

- 緊急時の取り扱い(故障したら参照)……………141
- キャッスル製品……………141

ク

- 区間距離計……………11
- クラッチ
 - 点検……………140
 - 液……………140

グラフィック・イコライザーの 使いかた	115
フルース・コンピューター (走行情報表示装置) 働き	69
使いかた	70
グローブ・ボックス(小物入れ)の 施錠・解錠	65
グロー・ランプ(予熱表示灯)	20, 31

ケ

計器照度調整	27
計器盤	6
軽油	138, 175
化粧ミラー	67
けん引	
ローブをかける位置	157
注意事項	158
オートマチック・ トランスミッション車	158

コ

高速運転	136, 171
工具の格納場所	144
故障したら	
エンスト	155
オーバー・ヒート	157
連絡先	154
バッテリーあがり	156
バンク	146
コラム・シフト(チェンジ・レバー)	38
コンソール・ボックス(小物入れ)	66

サ

サイド・サポート・アジャスタ (シート参照)	
サン・ルーフ	
電動での開閉	86
手動での開閉	87
サーキット・ブレーカー	160

シ

シート	
前後位置調整	50
リクライニング調整	50
パーチカル・アジャスタ	51
サイド・サポート・アジャスタ	51
ランパー・サポート	52
ヒーター付きシート	53
シート・ベルト	
装着方法	57, 136
取りはずし	58
手入れ	60
室内灯	63
シガレット・ライター	64
シフト・レバー(チェンジ・レバー)	34
車種一覧表	2
触媒装置	16, 134
充電警告灯	14
ジャッキ	
格納場所	144
ジャッキ・セット位置	145
純正部品、製品	4, 141
樹脂ホイール・キャップ	
取りはずし	150
手入れ	168
チェーン装着時	153
自動防眩式ルーム・ミラー (ミラー参照)	

ス

水温計	13
ステレオ(ラジオ、カセット・ステレオ)	
	90, 99, 102, 106
ステアリング・ホイール(ハンドル参照)	
スピードメーター(速度計)	10
スペア・タイヤ	
格納場所	146
交換方法	147
スポルト・ライト	
フロント	63
リア	63

セ

積算距離計	10
積雪時	172, 174, 175
背もたれポケット	67
洗車	166
前照灯	
点灯・消灯	22
上下切り替え	22
追い越し合図	22
ハロゲン・ランプ	163
前照灯の上向き表示灯	19
前照灯クリーナーの使いかた	24

ソ

装備品	176
速度計	10

タ

タイミング・ベルト交換警告灯	20
タイヤ	
空気圧	149
指定サイズ	149
スペア・タイヤ	146
応急用タイヤ	146
交換方法	147
タイヤ・チェーン	
装着方法	151
取りはずし	153
タコメーター(エンジン回転計)	10, 11
ターボ	
計器	7
運転方法	30, 139
エンジン・オイル	139
ターン・シグナル・インジケーター・ランプ (方向指示灯表示灯)	19
ターン・シグナル・レバー (方向指示レバー)	23
暖機運転	30, 133, 169
断線警告灯	47

チ

チェンジ・レバー	
ハンドル・チェンジ	38
フロア・チェンジ	34
オートマチック・	
トランスミッション	35
チャイルド・プロテクター(安全施錠装置)	
働き	78
使いかた	79
チャーシ・ウォーニング・ランプ	
(充電警告灯)	14
駐車ブレーキ	
使いかた	42
駐車灯スイッチ	28
駐停車	43, 132, 174
チルト・ステアリング	
(上下調整式ハンドル)	43

ツ

ツール(工具)	144
2ウェイ・オーバードライブ付き4速オートマチック・トランスミッション	39

テ

手入れ	
洗車	166
ワックス掛け	167
補修	169
定期点検	4
テンバフチャ・ゲージ(水温計)	13
ティーズル	
エンジンのかけかた	31
警告灯	20
燃料	138, 175
デジタル式メーター	8
電球	163
電磁式ドア施錠装置	79

電磁式バック・ドア施錠装置	79
電磁式ドア・ロック	
(電磁式ドア施錠装置)	79
電動ファンダ・ミラー	46
電動ウインドウ	80

ト

凍結時の処置	174, 175
時計	61
トランク	84
トランク灯	84
トリップ・メーター(区間距離計)	11
トルコン(オートマチック・トランスミッション参照)	
ドア	
施錠・解錠	77
電磁式ドア施錠装置	79
ドア・ガラス(ウインドウ・ガラス参照)	
ドア・ポケット	66

ナ

ナンバー・プレート・ランプ(番号灯)	163
--------------------	-----

ニ

荷室の作りかた	55
---------	----

ネ

燃料	138, 175, 181
燃料計	11
燃料タンク	
容量	11, 181
補給	83, 138
燃料タンク・キャップ	83
燃料・水分離器水位警告灯	20
燃料, 油脂, 冷却水容量	181

ハ

排気ガス	132
排気温警告灯	16, 134
灰皿	60, 138
ハイ・ビーム・インジケーター・ランプ	
(前照灯の上向き表示灯)	19
発炎筒(保安炎筒)	155
ハロゲン・ランプ	164
半ドア警告灯	18
ハンドル	
上下位置調整	43
ハンドル・ロック	29
ハザード・ウォーニング・スイッチ	
(非常点滅灯スイッチ)	28
バック・ドア	
施錠・解錠	84
電磁式バック・ドア施錠装置	85
バック・ドア灯	63
バッテリーあがり	156
バニティ・ミラー(化粧ミラー)	67
バーチカル・アジャスタ	
(シート参照)	
パーキング・スイッチ(駐車灯スイッチ)	28
パーキング・ブレーキ(駐車ブレーキ)	42
パワー・ウインドウ(電動ウインドウ)	80
バンク	146
バンパーの手入れ	167
番組予約	104
バック・ミラー(ミラー)	43, 44

ヒ

ヒーター	
通常通常の暖房	118
ガラスの曇りを取りるとき	119
頭寒足熱型にしたいとき	119
換気したいとき	120
早く暖房したいとき	120
吹き出し口	116
ヒーター付きフロント・シート	53

ヒート・ゲージ(水温計).....	13
ヒュース	
取り付け位置.....	159
容量・受け持ち回路.....	161, 162
予備ヒュース.....	160
交換方法.....	159
非常点滅灯スイッチ.....	28
非常点滅灯表示灯.....	19

フ

ファン・ベルト(Vベルト参照)	
フォグ・ランプ.....	27
不凍液(冷却水参照)	
フューエル(燃料参照)	
フューエル・ウォーニング・ランプ (燃料残量警告灯).....	12
フューエル・ゲージ(燃料計).....	41
フューエル・タンク(燃料タンク参照)	
フロア・シフト(チェンジ・レバー).....	34
フロント・シフト	
前後位置調整.....	50
リクライニング調整.....	50
ランバー・サポート.....	52
バーチカル・アジャスター.....	51
サイド・サポート・アジャスター.....	51
ヘッド・レスト.....	53
ヒーター付きシート.....	53
フロント・ルーム・ランプ (スポット・ライト).....	63
ブレーキ	
効き.....	136, 154, 175
液の点検.....	140
補給.....	140
ブレーキ・ウォーニング・ランプ (ブレーキ警告灯).....	17
ブレーキ警告灯	
冬(寒冷地での運転, タイヤ・チェーン参照)	

ヘ

ヘッド・ライト(前照灯参照)	
ヘッドランプ(前照灯参照)	
ヘッドランプ・フリーナー (前照灯フリーナー参照)	
ヘッド・レスト.....	53, 55

ホ

保安炎筒	
取り付け場所.....	155
取り扱い.....	155
ホイール・キャップ.....	150, 153
方向指示灯表示灯.....	19
方向指示レバー.....	23
ボンネット.....	82

マ

マニュアル・トランスミッション.....	34, 155, 181
----------------------	--------------

ミ

水たまり走行後.....	136
ミラー	
防眩式ルーム・ミラー.....	43
自動防眩式ルーム・ミラー.....	44
電動フェンダー・ミラー.....	46

ム

無線装置.....	141
-----------	-----

メ

メーター	
速度計.....	10
エンジン回転計.....	11

水温計.....	13
燃料計.....	11
メーター・照度コントロール (計器照度調整).....	27

ユ

油圧警告灯.....	15
雪道走行(寒冷地での運転, タイヤ・チェーン参照)	

ヨ

予熱表示灯の見方.....	20, 21
---------------	--------

ラ

ライト・スイッチ	
点灯・消灯.....	22
前照灯の上下切り替え.....	22
追い越し合図.....	22
方向指示.....	23
ランバー・サポート(腰部当たり調整)	
機械式.....	52
空気式.....	52
ランプ(電球).....	163
ラジオ.....	90
ラジエーター(冷却水参照)	
ラジエーター・キャップ.....	137

リ

リクライニング(背もたれ角度)調整	
フロント・シート.....	50
リヤ・シート.....	55
リモート・コントロール・ミラー (電動フェンダー・ミラー).....	46
リヤ・ウィンドウ・ガラス	
曇り取り装置.....	26
手入れ.....	26, 169

リヤ・ウインドウ・テフオツガ(リヤ・ウインドウ・ガラス曇り取り装置) ……	26
リヤ・シート	
リクライニング調整……………	55
ヘッド・レスト……………	55
取りはずし方を……………	169
リヤ・スポット・ライト (スポット・ライト)……………	63
リヤ中央アーム・レスト……………	54

ル

ルーム・ランプ(室内灯)……………	63
-------------------	----

レ

冷却水	
点検……………	172
補給……………	172
レオスタット(計器照度調整)……………	27

ロ

ロープをかける位置……………	157
録音……………	113

ワ

ワイパー	
フロント・ガラス用スイッチ……………	23
リヤ・ガラス用スイッチ……………	25
ウォッシャー液の点検・補給……………	172
ワイパー・ゴムの交換……………	169, 172
ワックスかけ……………	167

